

2011年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日時：平成22年11月18日〔木〕18：00～19：50
- 場所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム
- 出席者：理事4名・監事2名・第15回大会長

<審議事項>

1. 総会にて議決された2011年度事業計画の確認がなされた。
2. 2011年度理事会スケジュールに関して、案を作り確認することになった。
案として第2回1月21日、第3回3月25日、第4回6月17日、第5回9月16日、第6回9月23日、評議員会9月23日が挙げられた。
3. 新入会員の承認：2名の入会が承認された。
4. 会計（指名理事）について山田理事長より田代真理氏の推薦がなされ、承認された。
5. 選挙管理委員会の立ち上げについて、評議員の森田夏実氏と押川真喜子氏が推薦され、もう一人はこの2名に候補者を挙げていただき、次回理事会で最終決定することとなった。
6. 名誉会員推薦について、推薦者リストの各者が常勤であるか否かを確認することとなった。また、先の総会で承認された寺田秀夫氏より届いた御礼の葉書が、山田理事長によって披露された。
7. 将来構想について山田理事長から資料に基づき会期・会計年度の変更について検討する経緯の説明がなされた。会計年度の変更にあたり会則変更が必要であることが確認された。変更になれば次期理事の任期が半年延長される。

法人化されているときは予算と決算は同時にできない。一般社団までにするか、公益法人化するかにより財務処理が大きく変わること。法人化に関しては他の学会の動き等を見ながら検討していくこととする。現在は法人化していないので、今のところは総会時に予算決算を報告し承認を得る形でよいとの確認がなされた。

8. 入会申込書の一般学歴、専門学歴を分ける必要があるだろうかとの投げかけがなされ、学歴としてひとつでよいのではないかということになった。印刷物はまだ残部があるが、ホームページからダウンロードするファイルはすぐ修正可能とのことと修正していくことになった。

<報告事項>

1. 聖路加看護学会第15回学術大会終了報告がなされた。アンケート用紙に対談に関する項目がもれてしまい評価できず残念だったが、内容や満足度はよかったのではないかと推測する。真田氏の講演の満足度が非常に高かった。会計報告の「収入の部」の記載「予算」は「決算」に修正された。
2. 山田理事長より総会での報告ならびに審議の説明がなされ、2010年度総会議事録は承認された。
3. 学会誌編集委員会担当理事に代わり、山田理事長より資料に沿って報告がなされた。
4. ニュースレター委員会より、とくに報告事項なしとのことであった。
5. 学術交流委員会より資料に沿って報告がなされた（一部審議事項あり）。
 - ・23年度研究助成について、募集要項（案）の助成金額が今年度は50万円の予算で1件30万までとした点について、承認された。
 - ・【2011年度「研究助成」のお知らせ】でホームページより申請書をダウンロードしていただき募集する予定である。

・「学術交流講演会」は台風にもかかわらず22名の参加あり、盛会のうちに終了した。

6. 「高度実践看護開発検討委員会」委員長は山田理事長が担当することが承認された。
7. 庶務より、資料に基づき年間活動計画表の説明がなされた。また、山田理事長より「看護系学会等社会保険連合」に関する報告がなされた。本会は、診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会に入っているが、山田理事長が介護保険チームのリーダーになったとのこと。
8. 会計より、今年度の活動費は各委員会に分配（振込）したとの報告がなされた。また、昨年同様個別に会費請求書を作成しニュースレターに同封したいので、3月のニュースレター発行を4月以降に遅らせたいと要望がなされた。会費請求書に関して、新年度の日付で再発行して欲しいという依頼が何件もあり事務作業が煩雑であるためである。次回の協議事項とすることになった。また、経費（交通費等）発生に関係で、総会前日に理事会・評議員会を開催するほうがよいのではないかと提案がなされた。そして会計の締めを8月第1週にできるとよいとの話し合いがなされた。今年度は締めの時期と監査日の予定をあらかじめ決めて通知しておきたいとのことであった。
9. 学術大会参加者数および学術交流集会参加者数について山田理事長より報告された。

第2回

- 日時：平成23年1月21日〔金〕18：20～19：45
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事7名・監事2名・第16回大会長

<審議事項>

1. 2011年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：2名の入会が承認された。
3. 2011年度年会費振込票発送時期変更に伴う調整事項について検討された。

本年度は年会費振込票送付を4月発送のニュースレターに同封する（昨年度までは11月頃発送のニュースレターに同封）。それに伴い、

- (1) 学会誌の送付に関して、本年度の年会費振込票の送付は、本年度第1号の学会誌発送前であるため、当該年度である2011年度の年会費支払い有無に関係なく、2010年度までの会費を納入している会員に送付することとなった。2月の学会1号誌発送時に、その旨を通知する文書をいれる（担当：会計大久保理事）。

あわせて、年会費納入者のみへの学会誌送付の是非について検討した。学会誌の送付を受けることは学会員の権利であるが、学会員には会費納入の義務があること、会費未納者への学会誌送付に伴う出費は学会負担となることから、引き続き年会費未納者には学会誌を送付しないことが確認された。

- (2) 選挙人・被選挙人の会費納入期限は4月30日とすることが決まった（＝従来どおり）。
4. 選挙管理委員について山田理事長より、押川真喜子氏（聖路加国際病院）、森田夏実氏（慶應義塾大学看護医療学部）、八重ゆかり氏（聖路加看護大学）の内諾が得られたことが報告され、選挙管理委員として承認された。
5. 名誉会員候補について、さらに常勤有無について確認し検討を続けることとなった。

6. 会期・会計年度の変更について以下の通り審議された。
 - ・次回総会にて会則改定案を提出
 - ・2012年度は、18ヶ月にて1年分の事業を行う
 - ・ニュースレター発送は12月と4月とする
 - ・ニュースレター12月発送時に年会費振込票を同封する
 - ・2013年度より学会誌1号の送付は4月以降とする
 - ・総会開催時期は9月のまま変更なし
 - ・2013年度の事業案および予算案は2012年9月の総会にて行う
 - ・2012年度の決算報告は評議員会*にて行う
 - *決算報告は会期終了後2ヶ月以内と言われているため6月までに開催

7. 学会法人化に向けての検討を行うこととなった。公的資金獲得のためには法人化が必要で、法人化により法人として口座開設が可能となること、法人には納税の義務が生じることなどが話し合われた。理事会にて引き続き検討する。

<報告事項>

1. 第16回聖路加看護学会学術大会について報告がなされた。
 - ・180人規模を想定
 - ・ランチョンセミナー：500円程度のランチを提供
 - ・演題：20題を目標
 - ・参加費：新卒者または新修了者の参加費1,000円（入金・年会費と同時に納入の経済的負担を軽減するため）
 - ・自由集会：集会の場を提供する
2. 学会誌編集委員会より、資料に基づき報告があった。
3. ニュースレター委員会より、ニュースレター28号の発送が済み、29号は会計の希望を受け発送時期を3月から4月に変更するとの報告がなされた。
4. 学術交流委員会より、「研究助成の募集中（1月31日締切）。応募数：0件。引き続き広報活動を行う。」との報告があった。
5. 高度実践看護開発検討委員会より、「24年度の診療報酬改定に向けて申請書案を作成中。癌のカウンセリング料は、癌と精神のCNSがいれば500点追加となる。他のCNSの関わりの実績を報告して対象を拡大する案を作成中。看保連かCNS協議会に提出予定。」との報告がなされた。
6. 庶務より資料に基づき報告がなされた。
7. 会計からの報告事項は特に無いとのことであった。

第3回（書面）

- 日時：平成23年2月23日〔水〕付
- 回答者：理事6名・監事1名

<審議事項>

1. 「聖路加看護学会役員および選挙管理委員の選出に関する規定」について、評議員の選挙権を有する者の定義について、「当該年度の会費を4月30日までに納入した会員は、評議員の選挙権を有する。」と明文化した改正案は承認された。
2. 「聖路加看護学会役員および選挙管理委員の選出に関する規定」について、名誉会員は選挙権を有さないことが決まった。
 - *3月25日開催予定であった理事会は、東日本大震災の影響にて中止となった。

第4回（書面）

- 日時：平成23年4月11日〔月〕付
- 回答者：理事8名・監事1名

<審議事項>

1. 聖路加看護学会看護実践科学研究助成基金2011年度「研究助成」選考審査結果は承認された。
2. 聖路加看護学会新入会学会員（入会申込者）審査は35名

全員が入会承認された。

3. JANA「特定看護師（仮称）に関する提言（案）」は、承認7名・疑問ありの承認1名・保留1名だった。

第5回（書面）

- 日時：平成23年5月13日〔金〕付
- 回答者：理事6名・監事1名

<審議事項>

1. 2011年度聖路加看護学会評議員選挙の選挙人名簿・被選挙人名簿、および地区別評議員人数は承認された。
2. 聖路加看護学会新入会学会員（入会申込者）審査は4名全員が入会承認された。
3. 日本学術振興会育志賞推薦候補者は承認された。

第6回

- 日時：平成23年6月17日〔金〕18：10～20：10
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事8名・監事2名・第16回大会長

<審議事項>

1. 2011年度聖路加看護学会第2回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：18名の入会が承認された。
3. 名誉会員候補について、申し合わせ事項に準じ氏家幸子氏1名を名誉会員候補とすることとなった。
4. 自動退会予定者：全員に予告通知を送付する。理事会メンバーが既知の9名には直接会費納入を依頼することとなった。
5. 第18回聖路加看護学会学術大会大会長の推薦……理事会で名前が挙がった会員に理事長から依頼することとなった。
6. 会期・会計年度の変更について資料どおりのスケジュールで実施することとなった。また、移行期（2012年度：1.5年）の年会費は通常額の8000円とすることが確認された。
7. 2012年度聖路加看護学会事業計画案
 - ・〔学会活動推進策の提言（2008年度将来構想委員会答申）〕にそっておこなわれた事業「学会組織強化」は、この3年間に概ね達成されていることが確認された*。次年度は、学会の一般法人化により「学会組織強化」をはかることとなった。

*1) 財政基盤を磐石にするための、会員募集推進活動と、市民、学生・退職後会員への入会費免除、あるいは特別会費の設定→名誉会員制度の創設

2) 学会誌の編集企画計画に基づき、特集等を企画し、本学会の特色を発信できる体制作り→研究助成金採択課題の投稿

3) 学会誌編集投稿、学術大会演題の増加のための、研究表彰制度の設定→研究助成金創設

4) 学会誌編集事務の効率化のための体制見直し→業者委託

5) 大学院や看護実践開発センターの行事と学会の学会誌、学術交流、などの連動。大学院の課題研究の発表の場の提供→助成金採択課題の発表による学術大会演題数の増加

6) 聖路加国際病院の研究発表の場であるアカデミアとの連携→助成金採択課題の発表による学術大会演題数の増加

7) 看護実践科学の下位領域と学術大会での研究者ネットワーク形成と強化→第16回学術大会での企画実施（歴史編集委員会発表、高度実践看護開発検討委員会主催研修会の開催など）

- ・その他の事業は例年どおり提案されることとなった。
- ・会則改定は事業ではないため「事業計画案」には含まない。議題とする。

8. 学会の法人化について、メリット・デメリットを含め一般社団法人化計画を行うこととなった。
9. 「ケアマネ経営研究会」HPへの論文公開・ダウンロード承認依頼について、資料をもとに検討し、当該論文の公開URLにリンクしてもらうよう返答することとなった。

<報告事項>

1. 第16回聖路加看護学会学術大会より、表表演題や特別講演等について、進捗報告がなされた。
2. 学会誌編集委員会の資料代読を山田理事長が行った。投稿論文の減少について、学術大会での座長推薦などの仕掛けをもうけてはどうか、との意見があった。
3. ニュースレター委員会より、次号発行は来期だが、原稿依頼と原稿回収は今期委員会にて行い、次に引き継ぐこととなった。
 - ・委員会予算の決算について：残高証明書の発行は手数料が発生するため、今年度は通帳の残高をゼロにして対応が可能であることが確認された。
 - ・委員の交通費の支出が可能であることが確認された。
4. 学術交流委員会より、「研究助成」内規修正の説明がなされた。その他
 - ・2010年度実績報告書の提出があったが7件中6件は内容修正が必要であるため差し戻している。通常の決算報告提出期限（7月末日）に間に合わせる事となった。助成金の会計監査は委員会にて行う事となった（支出を上回る領収書が必要）。
 - ・助成採択者名と研究課題の公表について承認された。
 - ・次回の助成基金通知は、ハガキでなく定期送付物に同封したい旨提案があった（コスト削減のため）。

第7回

- 日時：平成23年9月16日〔金〕18：15～20：25
- 場所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事8名・監事2名・第16回大会長・選挙管理委員長

<審議事項>

1. 2011年度聖路加看護学会第6回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：3名の入会が承認された。
3. 退会者の承認：退会者21名・自動退会（会員資格喪失）者19名の退会が承認された。承認通知の文面に、退会は残念であり今後とも学会支援をお願いしたい旨を書く。退会届の理事会報告は年一度ではなく提出され次第にしてはどうか、との提案があった。
4. 2012年度事業計画案について山田理事長より説明がなされた。学術交流委員会から、研究助成に関する活動は委員会を別に立てるか、理事を1人体制から2人体制にするなど必要ではないかという意見が出されたが現行のままとすることになった。抽象度の高い案を、目標を明確に表現し直した。2012年度は法人化について準備をしつつ、会計年

度の切り替え後の実施を目指す。会計のコンサルテーション費用など予備費から出せるよう予備費を増やしておく。

5. 2012年度予算案について検討した。10月1日 - 9月30日と、10月1日 - 3月31日の2期に分けることが提案され、各委員会の予算など再検討し収支を合わせた予算を検討することとなった。

6. 総会進行について、資料をもとに、必要な担当者を決定した。

<報告事項>

1. 第16回聖路加看護学会学術大会より、参加者数、講演集、会場・展示、広告・会計・通訳など直前準備状況について資料を元に報告がなされた。
2. 森田選挙管理委員長より、資料を元に選挙結果について報告があった。投票率は前回並みとのこと。無効例について、全地区分の名簿が送付されるため、地区別に投票すべきところを他地区の被選挙人を投票してしまうケースや、外封筒に記名がないもの等の報告もあった。
3. 学会誌編集委員会より、太田理事（欠席）の代わりに山田理事長が総会資料をもとに代理で報告した。
4. ニュースレター委員会の総会資料確認を行った。
5. 学術交流委員会より総会資料をもとに報告がなされた。2010年度研究助成16件応募中7件が採択。2011年度研究助成8件応募中5件が採択された。助成金の会計処理が非常に煩雑であったため、今後に向けて採択者のための手引きを作成したとのことであった。
6. 高度実践看護開発検討委員会より総会資料を元に報告があり、一部修正し総会資料とすることとなった。
7. 庶務より、資料をもとに報告がなされた。

第8回

- 日時：平成23年9月23日〔金〕16：35～17：25
- 場所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム
- 出席者：理事7名・監事2名

<審議事項>

1. 2011年度聖路加看護学会第7回理事会議事録は承認された。
2. 2012年度予算案について大久保理事より資料をもとに説明があり、一部修正のうえ承認された。
3. 総会プログラムと進行表について確認し、役割分担について一部検討のうえ決定した。
4. 学会誌編集委員会太田理事より、業務委託しているライフサポート社との契約書について説明がされた。文言（「最低保障部数」）の確認後、今年度中に契約される旨、承認された。

<報告事項>

1. 2011年度決算報告について、資料をもとに大久保理事より説明があった。
2. 近藤監事より、監査が終了した旨報告があった。

以上